

第2次高島市市民協働のまちづくり推進指針

「協働」が市民の日常となるために、
を策定しました！

市民協働課 ☎(25)8526

たどってみよう

Ⅲ.協働によるまちづくりが始まる

つながりと気持ちがそろうてはじめて協働が生まれる



協働の道筋を

Ⅰ.多様なつながりをつくる

協働の土台づくり



Ⅰ.多様なつながりをつくる (協働の土台づくり)

活動を始めるきっかけの1つ目は、さまざまな人との出会いです。その中で思いを持った人への共感から協働の土台となる人のつながりが生まれます。

Ⅱ.まちに関わりたと思う (創りたい未来と社会課題を意識する)

活動を始めるきっかけの2つ目は、まちに関心を持ち自分事として捉えることです。何かしたい、できるかもと気付くところから始まります。

Ⅲ.協働によるまちづくりが始まる (つながりと気持ちがそろうてはじめて協働が生まれる)

さまざまなつながりができて、まちに関わりたという気持ちがそろう、協働が力強く動き出します。

平成20年3月に「市民協働のまちづくり推進指針」高島市らしい市民協働の実現に向けて「」が策定されてから約16年が経過し、さまざまな社会情勢や地域コミュニティの状況の変化によって時勢にそぐわない点も多々見られるようになってきました。このことから、今回、次の世代につながる協働のまちづくりを実現するため、新たな指針を策定しました。

協働ってなに？

「市民と市民または市民と行政や事業者等が良きパートナーとなって、信頼関係の中で責任を分かち合い、それぞれの特性や能力を発揮しながら、まちづくりという共通の目標に向かって連携し、育みあう関係」を「協働」とします。

協働のまちづくりの担い手は誰？

子どもも、若者も、大人も高島市に関わっている人、皆さんです。

目指す協働の方向性は？

市民一人ひとりに焦点をあて、協働に向けたさまざまな道筋や協働の形を分かりやすく示し、市民参加の裾野を広げることを目指します。

その実現に向けて、人と人のつながりやまちへの関心から協働のまちづくりへの関わりを増やすために、誰もが参画できる多様なスタイルの実現と、協働のまちづくりのあり方を次の世代につなぐための取り組みを進めます。

協働のまちづくりが身近にあると感じられる指針

新たな指針では、「協働が市民の日常として息づくまち」を目標とします。日常の中には協働のまちづくりに関わる機会がたくさんあります。知らないうちにまちづくりに関わっていたということもあるかもしれません。そのことに気付き、市民協働のまちづくりの裾野が広がり、気が付けばみんながまちづくりをしている、そのような高島市を目指しましょう。